

献血はてな？

Q&A 1



Q 200mL 400mL

A ずばり輸血の安全性です。
血液を多く必要とする患者さんにとって少しでも少人数の献血者の血液で治療の方が検査でわからないウイルスによる感染や、同じ血液型でも相性などによって起きてしまう発熱などの輸血時の副作用を軽減することができます。
2種類に分けている理由は貧血や体重が軽い人、また16歳から18歳未満の若者への健康上の配慮のためです。献血は体重40kg以上の方ができますが、400mL献血は男女ともに50kg以上の方しかできません。そのため、50kgに満たない方には200mL献血をお願いします。

■800mLの輸血に必要な献血者数



Q

A 献血をする時に「血しょう」もしくは「血小板」だけの血液成分を選択採血する方法です。
そのため、血液を採取しながら遠心分離をし、成分を分離しながら採血しています。そして、必要な成分だけを採取し、不要な成分は献血者に戻しています。
成分献血の利点は、献血する前の状態に戻るのが遅いといわれる赤血球を体内にすぐ戻すため、身体への負担が少ないというところにあります。

Q

A 通常使われる献血用の注射針は通常16~19G(ゲージ)18G=外径1.2mm
ちなみに30Gは1/30インチ(0.85mm)の太さです。
数字が小さければ小さいほど針は太くなります。

上から 採血用
つまようじ
検査用



Q 400mL

A 基本的に献血基準を満たしているなら大丈夫です。厚生労働省の献血指針にも示されているように体内血液量の15%以内なら身体上問題ありません。

※50kgの男性:600ml
50kgの女性:525ml

献血はてな??

Q&A 2



Q

A 成分献血には2種類、血しょう成分献血と血小板成分献血があります。それでは、それぞれどのような成分が含まれているのでしょうか。

まず血しょう成分献血についてです。血しょうというのは91%は水分ですが、残り約9%はタンパク質です。これらは体内に栄養や老廃物を運ぶ働きを持ちます。

次に血小板成分献血についてです。血小板は、傷ついた部分を見つけて張り付きます。

それが他の血小板や凝固因子を引き寄せ、血栓を作り、出血をとめます。

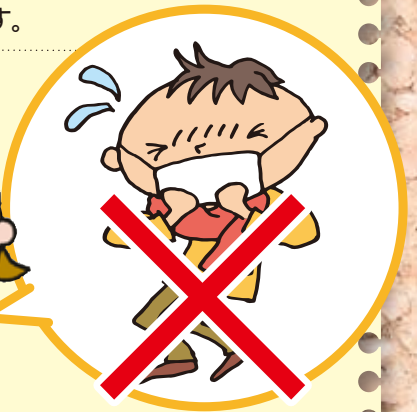


Q

A 血液は四季を通して見ると、もっとも冬に不足しています。それはなぜでしょうか?

それは、皆さんの生活の変化に伴っています。例えば、冬は寒いので外に出るのが億劫ですよね。すると、必然的に血液センターに出かける人が減り、また路上でキャンペーンをやっても人数が少ないので献血に協力してくれる人も減ってしまいます。または、風邪やインフルエンザで体調を崩す人や薬を服用している人が多いということがあげられます。献血はそのような方々にはしていただけないシステムになっているので、結果的に人数が減ってしまいます。

外は寒いですが、ぜひ外に出て、献血にご協力ください!! 暖かい献血ルーム、献血車でお待ちしております。



福島県立医科大学

献血について知らないことがたくさんあったので勉強になりました。献血に興味をもってくれる人が増えてくれればと思います。(C.H)

今まで献血の推進活動に参加したことはありましたが、知らないことがたくさんあったので記事を書くことで勉強になりました。記事を読んで、献血に少しでも興味をもっていただけると嬉しいです。(R.M)

編集後記

福島学院大学

今まで献血のことはほんやりとしか知りませんでしたが、今回の編集を通して少しでも知ることができて良かったです。参加して良かったです。(M.A)

初めて献血について調べてみました。工夫した部分は、針はどんなの?なんで400mL?とか素朴な疑問にして、わかりやすく解説できるようにしたところです。(H.I)

今回の記事を一人でも多くの人に見てもらい献血について知っていただきたいと思っています。(H.K)

